

BUKKENクオリティ

～笑顔をお届けする品質へのこだわり～

皆さんには日々心がけている、こだわりの一工夫はありますか？
ここでは、各現場で実践されている、お客様の笑顔や信頼を守るためのアイデアをご紹介します。
それぞれのひたむきな想いに触れ、日々の業務のヒントを見つけてみましょう。



BUKKEN PROFITBASE いずみ **こじま やよい**
小嶋 弥生さん

実践している一工夫

- 丁寧かつ素早い梱包作業**
- ☑ どれほど忙しくても雑な仕事はせず、一つひとつ綺麗に梱包！
 - ☑ かと言って時間をかけすぎない！

この意識を大切にしようと思っただきかけ

自分が実際に商品を受け取った際、丁寧とは言えない梱包をされていたことがあったからです。お客様が荷物を開けて中を見たときに嫌な思いをせず、気持ち良く笑顔になれるようなものをお届けしたい！というこだわりがあります。

お客様の感謝が信頼や自信につながる

お客様からの感謝のお声をいただきました。それは会社にとっても自分にとっても信頼、自信につながります。



本社(田園)物流センター **かつき なみ**
香月 菜実さん

この意識を大切にしようと思っただきかけ

先輩方の綺麗な仕上がりに少しでも近づけるよう、頑張っています。

実践している一工夫

梱包の美しさを意識

安心感とリピートにつなげたい

お客様に安心してリピートしていただけるように努めたいと考えています。

実践している一工夫

入念な複数回のチェック

- ☑ 梱包するお客様の
お名前・お問い合わせ番号をチェック！
- ☑ 入れる商品の種類をチェック！
- ☑ 梱包時に再度、種類・個数をチェック！
- ☑ 送り状を貼る際に
お客様のお名前を再度チェック！

この意識を大切にしようと思っただきかけ

種類を間違えて商品を梱包してしまった際、社員・リーダーの方に見つけていただき、誤出荷を防ぐことができました。チェックを怠れば誤出荷となり、お客様の信用も失ってしまうことになります。この経験からチェックの大切さを学びました。

この意識を大切にしようと思っただきかけ

やはりミスをしてしまったことが大きいと思います。もう一度確認しておけば気づけたかもしれない、お客様にご迷惑をかけずに済んだのだと思うと悔やまれます。事務所の方にもご迷惑をおかけしました。

「もう一度」の確認でミスを防ぐ

絶対にミスをしなくなるとは言えませんが、再確認することで間違いに気づけることがあります。

ONE TEAM

BUKKEN TIMES

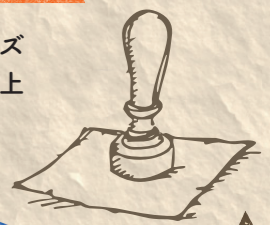


和泉EC物流センター **よしかわ よしこ**
吉川 良子さん

vol. **71**
2026.6.25
June

スムーズな出荷と生産性の向上

手際良く確認することでスムーズな出荷につながり、生産性も向上します。



本社(田園)物流センター **ごとう なおみ**
後藤 直美さん

実践している一工夫

入荷時のダブルチェック

・ High-quality, accurate work ・



新たな風を吹き込む 新人が仲間入り

「自分の手で社会を支える実感を持てることを楽しみにしています」。物流を通じて人々の役に立ちたいという熱意を持った、頼もしい新入社員が物研の仲間に加わりました！



本社(田園)物流センター
おおくのたくみ
大久農 拓海さん

Profile

誕生日:9月28日

出身地:大阪府堺市
趣味・特技:音楽
好きな食べ物:天ぷら

自分を一言で表すと……

自分に正直

周りからよく言われます。

入社のきっかけ

もともと物流に興味があり、物流を通して人の役に立つ仕事をしたかったからです。生活には不可欠なインフラとしての役割や、環境に配慮した物流に興味がありました。

活かしたいところ

目標に向けて継続力を活かし、物流の基本である正確な作業を積み重ね、高い品質を維持して信頼を築いていきます！

意気込み・楽しみにしていること

自分の手で社会を支える実感を持てることを楽しみにしています。持ち前の継続力で日々の学びを大切にしていって成長したいと思います。

愛犬です！



先輩方への
メッセージ

一日も早く戦力となれるように、先輩方からのご指導をよく聞き精一杯努めてまいります。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いします！

感謝の言葉が繋ぐ 現場の力

忙しい現場の中で交わされる何気ない「ありがとう」の一言が、周囲への気配りや温かい空気を作り出しています。たった一言から始まる感謝の連鎖がより良い職場環境を築いているという、大瀧さんの心温まるエピソードをご紹介します。



BUKKEN
PROFIT BASE
いずみ
おおはま けいぞう
大瀧 恵三さん

嬉しかった
言葉

「ありがとう」

現場が忙しく、全体的に余裕がなくなりがちなとき、作業の合間に何気なくかけてもらったのがこの言葉です。特別なことをしたわけではありませんが、普段の動きを見てもらっていたと感じて嬉しく、印象に残っています。

その後の意識の変化

それからは、自分も周りの様子を一層気にかけるようになりました。忙しいときでも、一言の「ありがとう」で空気がやわらぐと感じたので、無理のない範囲で声をかけることを意識しています。

物研ダイスキ従業員

物研を愛してやまない従業員が、「ここが好き!」「ここが日本一!」とそれぞれの推しポイントを紹介してくれました。和気あいあいとした職場の雰囲気や心温まる気遣い、そして安心の定年制度まで、愛と笑顔が溢れる物研トークをお届けします!



あゆみ野
EC物流センター
おくやま たかこ
奥山 享子さん

私が愛してやまな
物研の
好きなトコロ

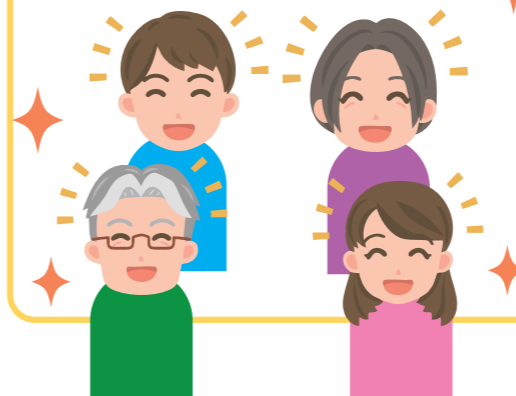
人間関係や
職場の雰囲気がGood!

チームワークが良く、大変働きやすく感じています。

物研の
ここが日本一!

抜群の
「休暇の取りやすさ」

休みが取得しやすく、長く安心して働き続けられる環境がしっかり整っているところが、物研の強みです!



和泉EC物流センター
サブリーダー
かわさき ゆみこ
川崎 由美子さん

私が愛してやまな
物研の
好きなトコロ

社員さんとの壁・ナシ!

一般的な会社であれば、「私は社員です!」といった雰囲気、パートさんとはそこまで話をしないかもしれません。しかし物研では、仕事はもちろんプライベートまで、従業員の皆さんが垣根を越えて何でも気さくに話し合っています。また、年末の繁忙期には豚汁を作ってくれたり、袋いっぱいのお菓子を差し入れてくれたりします。旅行の際にお土産を買ってきてくれることもあり、温かい気遣いに溢れています。働きやすい環境であることは間違いナシ! 皆が仲の良い物研が大好きです。

物研の
ここが日本一!

定年が驚異の「75歳」!

老若男女、年齢関係なく長く働けるのは、物研の強みです! 「まだまだ働ける」という安心感は、仕事へのモチベーションを高めてくれます。ただ、ここ和泉だけは、倉庫の階段を3階まで上れなくなったら引退……かも? (笑) 足腰を鍛えて頑張ります!